

3日目①「地域防災活動について」

2024年5月11日（土）クレオ大阪中央にて

講師：増田裕子さん（新東三国地域活動協議会副会長）

笠井あゆみさん（(一社)あおぞら湯代表理事）

増田さんの進行で始まった今回の講座は、①イントロダクション、②わたしの地域活動、③教えて！コーナー、④まとめ・みんなの質問にこたえます、の4つの構成でした。

イントロダクションでは、あなたにとって「地域ってどこ？」「どんなイメージ？」との受講者への問いかけから始まりました。一般的によく使われる言葉ではありますが、それぞれ解釈が異なることを前提としました。



次に、笠井さんから活動紹介がありました。大阪市北区中津地域で3人の子どもを育てながらママとして様々な課題に気づき、乳幼児の子育て支援拠点を地元のママたちと一緒にスタートし「あおぞら湯」が誕生しました。同じくして地域の防災訓練への参加を契機に乳幼児の子育て層向けの防災活動の必要性を感じ「あおぞら防災ママ認定講座」を始め、毎年継続し今年で9期となりました。参加者と防災と一緒に学び、実践し、またやり直ししながら、地域活動への入口ができたり、リモートでの開催によって遠隔連携のベースができたりと、人と人とのつながりが広がっています。

次に、増田さんから活動紹介がありました。大阪市淀川区新東三国地域活動協議会の副会長として、防災や福祉など様々な分野における地域課題の解決やまちづくりを通じて人と人とのつながる場づくりを行っています。とりわけ防災活動では、犠牲者を出さない、命をつなぐことを目標に、活動にはPLAN（計画）、DO（訓練）、STUDY（教育）、ACT（啓発）のサイクルを取り入れて実践しています。防災訓練は官製的な内容でなく自分たちで企画立案し実行したり、児童生徒向けの授業を学校と連携して実施したりするなど、自律した自主的な活動を展開しています。



次の質疑応答では、「あおぞら防災ママ講座の構成は？」の質問に対して、笠井さんから、学びたいことを見つけて学びの場をつくり、学んだことを伝えていくことにより、いろんな方とお話しをする機会が増え、ジェンダー平等や多様性を感じるようになったことなどのお話がありました。

「町会未加入者が増えている中での活動の秘訣は？」の質問に対して、増田さんから町会未加入者も含めて顔見知りを増やすために、隣近所といった近所の小さな輪を大切にしたいといったことなどのお話がありました。

既に活動している女性リーダーからのお話を聞いて、受講者が行動を始めること、活動を続けること、活動を次のステップに進めることの重要性を身近に感じる機会となりました。